

五社堂建立800年祭記念公演
「八百年の霊夢を解き明かせ」

EN-TEN

物語のあらすじ…

平成28年夏…男鹿市門前。

東京から取材で来た田中里子を案内する男鹿市観光協会の山岸健治。五社堂の“姿見の井戸”近くに来たとき突然地震が…。防災無線が鳴り響き、井戸からは電話の音や赤い光が…なんと山岸は井戸の中へ。目覚めるとそこは800年前の門前の地。五社堂はまだ建てられていない…。



山岸健治
天野 厚助



田中里子・ツバキ
佐藤 純子



長老
荒川 洋



円転
松橋美栄子



代官
宇佐美 誠
男鹿演劇研究会
ふきのとう



平六
天野 康誠



源実朝
松野 輝大



タエ
川邊 裕子

劇団 EN-TEN



手下
西村 幸一



リン
佐藤 真月

原案・総括
平野 宅悦

脚本・演出
松橋 義弘
男鹿演劇研究会
ふきのとう

舞台監督
菅原 勝二

音響
小田原 洋
劇団・秋田市民劇場

照明
工藤 巳幸
劇団・秋田市民劇場

照明
柴田 理
劇団・秋田市民劇場

制作
糸井 真吾

衣装
山之内雅子

衣装
加藤 朝子

衣装
小玉 圭子

小道具
夏井 康子
男鹿演劇研究会
ふきのとう

小道具
大友 純子
男鹿演劇研究会
ふきのとう

殺陣師
加藤 純平
劇団 はちのす

劇団EN-TEN「八百年の霊夢を解き明かせ」
この物語は五社堂建立800年祭(平成28年7月)の記念演劇として作られ上演されたものです。
この度、〈ふるさと彩発見 さきがけin男鹿〉のイベント開催に際し再演することになり大変喜ばしく思っております。
今から800年前、建保4年(1216)に五社堂は建立されました。当初は七社であったと言われております。
では、「誰が何のために建立したのか？」
調べてみると鎌倉幕府三代将軍源実朝公と門前の永禅院別当円転が深く関わっていたとの記録がありました。
鎌倉幕府成立から30年ほど…その間奥州藤原氏が滅ぼされ、出羽の大河兼任の反乱などを経て時代は落ち着きを取り戻しつつありましたが、まだまだ男鹿島では蝦夷(えみし)と呼ばれた民と幕府との軋轢の間で円転は苦悩していたのではないかと。そんな円転の民の安寧を求める思いと、幕府の権威を示すという思惑が一致し、比叡山山王上七社を模して勧請したのでは？そのような思いを馳せながら、時を遡り五社堂建立の物語「八百年の霊夢を解き明かせ」を創作しました。
お楽しみいただければ幸いです
原案・劇団EN-TEN総括 平野宅悦

ふるさと彩発見
さきがけin男鹿

日時 平成28年
10月30日
開演14:00(開場13:30)

会場 男鹿市民文化会館
大ホール

入場無料!!